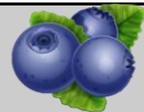


練馬の新たな夏のレジャースポット！ ブルーベリー観光農園が賑わっています！



と き	9月中旬まで開園予定 (開園期間は各園によって異なるため、詳細はお問い合わせください)
と ころ	区内28園(うち、大泉地域は17園) 摘取料金：100g200円(共通)

夏休みに入り、区内のブルーベリー観光農園では、収穫体験を楽しむ家族連れなどで賑わっている。

ブルーベリーは酸性の土壌を好む性質があり、練馬区の土壌は関東ローム層(酸性)であるため、生育に大変適している。練馬区のブルーベリーの栽培面積は約843アールと、**23区内最大**の広さを誇っている(平成22年度東京都農作物生産状況調査より)。



郊外の観光農園よりも交通の便が良いため、足を運びやすいのも魅力の一つで、昨年の来園者は約2万人。このうち約2割が区外からの来園。



ブルーベリーの木は背が低いことから、幼い子どもでも、たくさんの実を摘み取ることができ、身近な夏休みのファミリーレジャーとしても利用者が年々増加している。お子さんと一緒に訪れた男性(37歳)は、「6歳と5歳の子どもでも簡単に摘み取ることができるので、子どもたちも暑さを忘れて夢中になってました。30分くらいでカゴがいっぱいになり、家でヨーグルトと一緒に食べようと思います」と楽しんでいた。

9月中旬まで摘み取りを楽しむことができるが、各園とも摘み取れる実が無くなり次第終了する。開園状況は区ホームページに掲載している。

区ホームページURL：<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/nogyo/hureai/kanko/index.html>

【まち歩き情報充実！ブルーベリー観光農園案内パンフレット】

パンフレットには各農園の開園時期、予約方法、交通案内に加え、観光農園周辺の観光スポットや練馬産の農産物を使用した商品・店舗などの情報のほか、ブルーベリーレシピも掲載されている。観光農園の周辺にある、練馬の魅力なスポットを見つける手助けになる。

配布場所：区役所や出張所などの区立施設、練馬区観光案内所、JA東京あおば直売所



(左) 白い粉の付いたブルーベリーの实

白い粉(ブルーム=果粉)は、熟した実から自然と出る物質。虫や病気などから実を守るほか、新鮮さを保つ効果もある。観光農園のブルーベリーで摘み取った実には、粉の付いた状態で持ち帰ることができる。

(右) 平成25年度 練馬区ブルーベリー観光農園パンフレット表紙



【問い合わせ】

区民生活事業本部 産業経済部 都市農業課 農業振興係 電話 03-5984-1403 (直通)